

11歳で誘拐され、
人殺しをさせられた

リターニーズ
RETURNEES

子ども兵だった僕に、
帰れる場所がありますか？

監督・撮影・編集 菊地啓

通訳・コーディネーター Ochola Dominic / 効果・整音 高木創 / カラーグレーディング 石原史香 / 助監督 大久保雪花 / デスク 宮田弥生・小山亜衣
宣伝美術 鈴木響・櫻木まゆみ / 音楽 Ryan Taubert / 助成 文化庁文化芸術振興費補助金(日本映画製作支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
プロデューサー 上田末生 / 製作 日本電波ニュース社 / 2026年 / 日本 / カラー / 5.1ch / 102分



人生を取り戻そうともがく元子ども兵たちと、 彼らを支える日本のNPOの活動を、 アフリカ東部で2年にわたって見つめたドキュメンタリー。

10歳前後で誘拐され、意思を奪われ、人生そのものを奪われた元子ども兵たち。肉親を殺され、数えきれないほど死を目撃し、命令に抗えず殺戮に手を染めた者も多い。被害者であり、誘拐や虐殺に加担した加害者でもある。彼らは10年、20年もの間、戦うことを唯一の目的とする環境で過ごしてきた。

2023年、元子ども兵とその家族140名あまりが武装勢力の活動地域から逃げ、ウガンダに帰ってきた。彼らはこう呼ばれる——リターニーズ(帰還者たち)。

しかし、彼らの受け入れを拒絶する社会の壁は厚い。親族ですら忌避する。果たして彼らは、生きる場所を見つけることができるのか。

そして、長年、元子ども兵たちの支援を続けてきた小川真吾(NPO法人テラ・ルネッサンス)は、彼らとともに新たな挑戦を始めた——

もしこの1年でたった1作しか映画が観られないとしたら
この映画を観てほしい！

高野秀行 ノンフィクション作家

命を救うだけじゃない。

小川さんは、奪われた心と未来を救い続けています。

石原さとみ 俳優

安全に生きれる社会がどれほど尊いものかを知るのに
この映画は素晴らしい教科書となるだろう。

一青窈 歌手

とてつもない経験をしている元子ども兵や女性たちが前を
向いて生きる姿を見ると、その逞しさから涙が出てきました。

廣瀬俊朗 元ラグビー日本代表

